

平成20年度 地域づくり総合支援事業（サポート事業）一般枠

県南地方で行われた「地域づくり総合支援事業（サポート事業）」の実績について、御紹介します。

白河市

やぎとひつじで白坂地域活性化交流事業（特定非営利活動法人白坂ころんぶす）

地元住民と都市住民等との交流を促進するため各種交流事業に取り組んだ。さらに、県企業局が販売している白河ライフパークが近隣にあることから、事業を通じて便利な田舎暮らしを都市住民にPRし、二地域居住等の推進を図った。

米作り農作業体験事業(3回、98名)

梅の木・竹林オーナー事業(梅：3回、85名、竹：4回、129名)

山羊と羊のふれあい体験事業(3回、103名)

里山夢の広場づくり体験事業(9回、359名)



白河市

「夢・活・心 浪漫地区しらかわ」中心市街地活性化にチャレンジ-高校生チャレンジショップ-空き店舗を開けよう(本町町内会)

白河市中心市街地において、空き店舗を活用した高校生のチャレンジショップやパソコン教室を開催するほか、商店街において季節の風物に応じた催しを実施することなどにより、中心市街地の活性化を図った。

高校生チャレンジショップ等の開催(7/4, 11/21)

端午のまつり(4/26~5/11)

おひな様まつり(2/21~3/3)

旧3村の農産物等を中心市街地で直売(12/6)



白河市

酒づくり交流事業~酒造りで地域振興を~(地酒交流事業実行委員会)

県南地方においては、地域づくりを目的に休耕田等を活用した地域の酒造りが数多く行われているため、地域の酒造りに携わる方々が一堂に会する交流事業を実施し、酒造りを通じた県南地方の取組みを地域内外に発信した。

期日：平成21年2月13日(金)

場所：ホテルサンルート白河 参加者数：306名

出品酒：10銘柄〔宮本、初舞台、ほたる、料理酒、秋美人、天狗の輝き、びゃっこの泉、夢街道、愛郷の輝き、青春賦〕



白河市

表郷地域活き活き産品開発事業

(表郷いいもの開発協議会)

遊休農地を活用して菜の花を栽培し、搾取した菜種油を学校給食等へ試供品として提供した。また、菜の花畑の景観を活かしたコンサートを実施し、当該事業を地域内外に広く PR するほか、地元産品を使用した料理コンテストを実施し、地域特産物の開発を行った。

菜の花栽培(3ha)、菜種油搾取、給食等への提供等

菜の花畑コンサート(5/11、72名)

ハスカップ挿し木作業

地元産品を使用した料理コンテスト(3/2、レシピ14品)



白河市

県南地域の芸術文化を活性化させるための人材育成事業

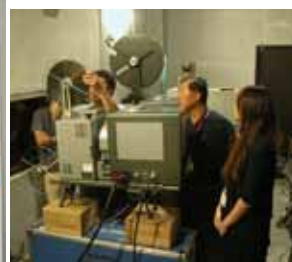
(特定非営利活動法人カルチャーネットワーク)

地域の芸術文化の発展に貢献できる人材を養成するために、各種人材養成事業を実施した。講座修了後は、成果発表イベントを実施するとともに、当該 NPO 法人より認定証を発行し、有償ボランティアとして登録した。

映写技師養成講座(講座4回、参加者6名、成果発表は映画上映会の開催。約500名が来場。)

ホール音響照明技術養成講座(講座5回、参加者7名、成果発表は自主企画コンサート。)

情報誌編集者養成講座(講座5回、参加者3名、成果発表はフリーペーパー制作・発行。)



白河市

しらかわ歴史のまちづくり推進事業

(しらかわ歴史のまちづくりフォーラム)

戊辰戦争140年の節目の年であることを記念し、戊辰戦争を題材とした演劇の上演や講演会及び地域の小学生を対象とした出前授業を実施し、地域住民等に対し歴史の再認識を促した。

日時：平成20年7月26日(土)～27日(日)

会場：白河市文化センター

演劇の上演(演目：明治の兄弟～山川家の人々～)

講演会(講師：星亮一) パネルディスカッション

入場者：演劇230名(26日)

講演会・パネルディスカッション：380名(27日)



白河市

宗祇白河紀行連句賞（宗祇白河紀行連句賞実行委員会）

白河市の歴史、史跡、さらには歌枕の地「白河」を全国にPRするため連句会を開催した。飯尾宗祇及び白河市にちなむ発句(575)に対し、脇句(77)、第三句(575)を全国から募集し、大賞受賞者及び佳作受賞者を白河市(鹿嶋神社)に招いて歌会を実施した。

表彰式・連句会(平成20年11月30日(日)鹿嶋神社)

応募数:1,415句 講習会の開催(2回)

白河連句会設立(平成20年8月28日設立)



白河市

白河提灯まつり～いにしへの光と歴史のページェント～（白河提灯まつり実行委員会）

永年の伝統を誇る「白河提灯まつり」は隔年開催であるため、地域の活性化を図るため、また県南地方における観光の一大イベントとして「白河提灯まつり」を実施した。

日時:平成20年9月14日(日)

提灯御輿行列...9町

子供提灯まつり...10校参加

物産展示即売会



白河市

伝統技能復活推進事業（甲冑作り）（白河甲冑塾）

白河地方において甲冑製作の伝統技法を復活させるため、手作り甲冑教室開催した。製作した甲冑(紙製)の一部は、商店街等に陳列するなど、まちづくりの一環として活用した。

手作り甲冑教室(初級講座12回)

参加者数:20名

着初め式(12月)

展示会

(2月、4日間で約3,500名の来場)



白河市

スポーツ和太鼓フェスティバル (21' スポーツクラブinしらかわ)

国道 289 号甲子トンネル開通を記念し、国道 289 号沿線市町村に存する和太鼓愛好会を参集し、「和太鼓フェスティバル」を開催した。

なお、「スポーツ和太鼓フェスティバル」と併せて、街の保健室として血圧測定や体脂肪測定等を行った。

日時：平成 20 年 8 月 23 日(土)

会場：白河市民会館

参加団体：8 団体、1 個人（うち県外 2 団体）

参加者・観覧者：約 1350 名



白河市

大昭和祭り (社団法人白河青年会議所)

白河市中心市街地において、「昭和」をキーワードとしたイベントを開催し、賑わいを取り戻すための取組みを実施した。

日時：平成 20 年 4 月 29 日(火)祝日

会場：白河市民会館付近

来場者数：約 6500 名

昭和食堂、昭和の街並みを再現、なつかしい遊びの体験、手書き映画看板の展示、ミゼットによる宣伝



白河市

「つるし雛」づくりを活かしてまちづくり (白河ひなの会)

街中ににぎわいを取り戻すため「つるし雛」を製作し、商店等に展示し中心市街地の活性化を図った。また、だるま市の際には「つるし雛」づくりのコーナーを設け、観光客にも体験してもらい観光資源としての活用を探る。

つるし雛づくり教室の開講

(週 3 日(火・水・金) 9:30~12:00、2,000 個作成)

展示・体験(だるま市(2/8~11)や、おひなさまめぐり(2/21~3/3)時に、マイタウン・商店等に展示。体験講座・体験コーナーの実施))



白河市

ストリートライブinしらかわ (白河市中心商店街振興組合)

白河市中心市街地のにぎわい創出のため、音楽イベントを開催した。また、甲子道路開通にあわせ、南会津のバンドにも参加を依頼し、南会津との地域間交流の拡大を図った。

日時：平成20年11月2日(日)～3日(月)祝日

白河市が実施する「しらかわ食と職の祭典」と同日に開催。

会場：白河駅前

参加バンド数：33(県内25(うち県南21)、県外8)

来場者数：約960人



白河市

キャラクターによる夢・元気創造事業 (白河商工会議所青年部)

街の活性化を目的にキャラクターを作成し、お祭りや地域のイベントなどさまざまな市民活動に出向き、街中に賑わいを創出し中心市街地の活性化を図った。

キャラクター作成

イベントへの参加

ステッカー、カードの作成



白河市

中止市街地活性化—案内板で城下町白河の歴史を紹介 (本町復起会)

本町町内を横断する旧奥州街道沿いに点在する白河の名所・旧跡の案内板を作成することにより、誘客促進、交流人口の増加及び中心市街地の活性化を図った。また、地元の子どもたちにも白河の歴史を身近に感じてもらうことにより、地域の歴史の再認識を促した。

本町にゆかりのある神社や寺院等の案内板設置
(15基)

総合案内板の設置

案内マップの作成



西郷村

源流の郷西郷さくら祭り (源流の郷西郷さくら祭り実行委員会)

福島県総合社会福祉施設太陽の国を会場として、地域資源である桜を活用したさくら祭りを開催し、障がい者と健常者の交流の場を提供するとともに、県南地方の桜の名所としてPRを行った。

日時：平成20年4月19日(土)～25日(金)

会場：太陽の国

会場ライトアップ(4/20～25)

イベントデー

(フラダンス、太鼓など芸能披露、4/19～20)

観桜健康ウォーキング大会(4/20)



西郷村

魅力発信！源流の郷西郷ふれあい交流事業 (魅力発信！源流の郷西郷ふれあい交流事業実行委員会)

健康づくりと甲子高原の魅力をもつため、ウォーキング大会を実施した。また、今年開通した国道289号トンネルを記念し、西郷村と南会津地方及び栃木地方との交流事業を実施し、地域間交流の促進を図った。

源流の郷わくわく健康ウォーキング

・西郷ふれあい交流祭(6/22、約500名)

南会津エリア、栃木県とのスポーツ交流会

中学校親善野球大会 9/6(9チーム)

児童ソフトボール大会 10/14(10チーム)

開通記念子ども交流会(9/3、約400名)



西郷村

西郷村・下郷町地域活性化事業 (西郷村・下郷町地域活性化実行委員会)

平成20年秋の国道289号甲子トンネル開通にあわせ、隣接する西郷村と下郷町が連携して両地域のPRを行うため、地域の特産品や観光ポイント、宿泊施設等を掲載したロードマップを作成した。また、東北自動車道サービスエリア及びアクアマリンパーク交流施設において、両地域の観光パネル展示やロードマップ・特産品の配布を行った。

ロードマップ10,000部作成

PR：佐野SA 8/28、アクアマリンパーク 8/31



西郷村

広域観光連携事業（白河甲子大川羽鳥広域観光連携実行委員会）

県南地域と南会津地域を結ぶ国道 289 号線が開通し、新たな観光ルートが誕生したことから、隣り合う 4 市町村が連携し全国に向けて地域資源を発信することにより、本地域への誘客促進、交流人口の増加を図った。

講演会（H21.2.4(水)13:30～西郷村文化センター）

約 260 名参加

首都圏 PR キャンペーン事業（3 回実施）

- ・イトーヨーカドー葛西店 2/7(土)～8(日)
- ・板橋区ハッピーロード 2/12(木)～13(金)
- ・湯島天神境内 2/21(土)～22(日)



白河甲子大川羽鳥
広域観光連携実行委員会

泉崎村

おらが村の特産品開発事業（おらが村の特産品開発事業実行委員会）

地場産品の加工技術習得のための試作研究等を実施し、地域特産品（はと麦おやき、クッキー、ルバーブジャム）の創出を図った。

産品開発（年間通じて実施）

出前元気はつらつ教室（10カ所）

への試作品提供や地域の小学校、

各種イベントに参加し、

延べ 2,257 名と交流を図った。



泉崎村

さつき球場を活用した青少年の野球交流事業（さつき球場青少年野球交流事業実行委員会）

泉崎村「さつき球場」を会場とし、県内各地の中학생等の野球技術の向上を目指し、選抜野球大会及びプロ野球 OB 選手による野球教室やミニ講演会を開催した。

日時：平成 20 年 5 月 10 日(土)～11 日(日)

会場：泉崎村さつき公園

来場者数：5/10 約 800 人、5/11 約 500 人

選抜中学生野球大会（県中体連 6 支部代表チーム、泉崎中学校、主催者選抜 1 チーム計 8 チームのトナリ対戦）

OB 選手による野球教室（対象：選手、約 200 名）

OB 選手による指導者講習会（対象：指導者、約 100 名）



写真提供：報知新聞社

矢吹町

矢吹町西側地域現代版里山づくり事業 (こうすっぺ西側イメージアップ作戦)

矢吹町におけるJR東北線西側地域の里山を魅力あるものとするため、次の事業に取り組んだ。

里山散策路木材チップによる補修整備
里山散策路の案内看板の設置(10基)

里山散策ウォーク(11/30(日)、約80名参加)



矢吹町

「ふくしま移住者ネットワーク」構築事業 (移住者ネットワークふくしま)

移住者、住民、都市部の移住希望者のネットワークを構築し、双方向の情報発信により、移住者及び移住を希望する方のニーズの把握や、移住者と移住希望者との交流を促進することにより、本県への定住二地域居住の推進を図った。

HPの充実

子ども公開講座(10/13、矢吹町文化センター)

地元の文化伝統行事(苔玉づくり 6/8「花ごよみ」)

親子クッキング 7/21「菅生の郷自然学校」)

講演会(10/26、泉崎カントリーヴィレッジ)



棚倉町

第3回城下町棚倉わくわくフェスタ (城下町棚倉わくわくフェスタ実行委員会)

県南地方の地域資源を地域内外に広く周知するため、県南地域の食材を活用した料理の試食や特産品のPR、郷土芸能の発表等を実施した。また、開催日当日に「全国生涯学習フェスティバル」「ラ・フェスタ ミッセ ミリア 2008」が会場付近で開催されたことにより来場者数が増加し、より効果的にPRすることができた。

日時：平成20年10月13日(月)祝日

会場：ルネサンス棚倉、棚倉町文化センター

来場者数：約5500名

県南地方「食」コーナー こども遊びコーナー

科学実験コーナー 県南地域の特産品の展示・販売

東白川地方文化団体等の芸能発表



棚倉町

TMOまち工房まつり (TMOまつり実行委員会)

集いの小径を主たる会場として、まちづくりに対する意識の醸成や子供達と商店街との交流の促進、さらには東白川地方の食の魅力のPR等を目的としたイベントを実施した。

日時：平成20年11月9日(日)9:00～16:00

会場：まち工房たなぐら「集いの小径」(棚倉町)

大すごろくラリー 素人名人そば会

小学生が考えた！地場産給食試食会

ライブコンサート



棚倉町

世代を超えるハーモニー事業 (琴城流大正琴福島県南支部)

大正琴を活用し、世代間交流や青少年育成等を目的として、初心者向け講座、並びに成果発表会&演奏会を開催した。

初心者講座

・月2回×5回×6箇所

(白河1、矢吹1、棚倉3、鮫川1)

成果発表会(73名参加)

3/29(日)

白河信用金庫棚倉支店ふるまち出張所

「ふれあい交流館」



矢祭町

元気な子どもの声がきこえるまちづくり事業 (景観まちづくり会)

国有林における杉の間伐材を利用して「励ましのイス」を製作し、町内各所に設置することにより、高齢者や子供の休息できる場所を確保した。

また、親子で川に親しむ集いの実施や遊休農地を菜の花畑にする取組などにより、町民のまちづくりに対する意識の向上を図った。

「励ましのイス」の製作(5回、20脚製作)

遊休農地における菜の花、ひまわりの播種

親子で川に親しむ集い(8/23、約60名参加)



矢祭町

まちづくりふれあいフェスティバル事業 (ヤーヤー祭り実行委員会)

全国の市町村の中で、「祭」のつく町は矢祭町のみであることから、年間を通じて「祭」を実施し、元気な子どもを育成支援している矢祭町の取組みを全国に発信した。

夏(いかだ作り&川下り、ザリガニ釣り)

8/3 実施、約 100 名参加

秋(水鉄砲合戦、輪投げコーナー、焼き野菜)

11/23 実施、11 チーム参加

冬(凧揚げ大会、100 連凧づくり)

1/11 実施、約 100 名参加



埴町

はなわのダリアで「はなわ夢づくり」事業 (埴町ふるさと産業おこし連絡協議会)

埴町の町の花であるダリアを町内外に対して周知を図るために、ダリア写真コンテストの優秀作品を埴町と交流のある自治体の施設等に展示するほか、品種改良により埴町にしかないダリアづくりに取り組んだ。

ダリア写真の展示(65か所)

新品種の開発(参加老人会15団体)



埴町

湯悠ゆったり埴まるごと体験事業 (常世アグリネットワーク実行委員会)

練馬区住民を対象とした交流による地域の活性化を目指して、各種地域交流事業に取り組んだ。

春の体験(田植え、山菜収穫体験)

5/10、38名参加

秋の体験(稲刈り、そば打ち体験)

10/11、38名参加

練馬区での青空市の開催

9回(毎回300人以上の来客)



鮫川村

親子農山村アグリ塾・石窯ファミリー食農実践（特定非営利活動法人あぶくまエヌエスネット）

身近に食と農の大切さを体得することを目的として、鮫川村周辺の親子や都市住民等を対象に農的活動と石窯を活用した食農体験実践事業を行った。

親子農山村アグリ塾

8回実施、参加者延べ162名

石窯ファミリー食農イベント

2回実施、参加者延べ124名

